

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区 大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



地域を育み、大陸をつなぐ

創立 1967年12月26日

- 会長 加藤 敏明
- 幹事 中原 毅
- 会報委員長 小林 誉典

2010年～2011年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

平成22年10月26日

No. 2088

H22.10.19 (No. 2087) の例会記録

今週の卓話 (10月26日)

「山 一剣岳・立山」

田中 祥介 会員

ロータリーソング

「手に手つないで」「四つのテスト体操」

次週の予定 (11月2日)

「ロータリー財団月間に因んで」

高島 登 ロータリー財団委員長

ニコニコ箱

後面に記載

先週の例会報告

◆ 出席報告 (10月19日分)

会員数 44名 出席数 34名 欠席者 5名
特定免除 5名 その他免除 0名
出席率 88.64%

前々回10月5日分 (秋の家族会)

ホームクラブの出席者 26名 81.82%
メイクアップの結果 30名
特定免除 10名 その他免除 0名
欠席者 4名 修正出席率 90.91%



皆様、こんにちは。

今月は職業奉仕月間にあたります。「ロータリーの源流」の中の「職業人のためのロータリー道徳律」という条文を学んで行きたいと思います。

第1条 自分の職業は価値あるものであり、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものと考えること。

ロータリアンは世の中に有益な職業から、一人一人業種で選ばれます。従って、泥棒とか麻薬密売とか売春といった世に有益でない職業の人はロータリーに入ることはできません。法的に禁止されている事業も同様です。日本でも自治体の条例で禁止された地域では風俗業やパチンコ業などがこれに該当する場合があります。

ロータリーでは職業のことを **Vacation** と呼んでいます。これは、「天から与えられたもの」すなわち天職を意味します。世襲制で引き継いだ職業を天職と定義して、それを子孫が代々引き継ぐことが美德と考えられていた時代もありますが、現在では産業構造の変化、職業の細分化、他業種への転換等が頻繁に行われるため、それを厳密に定義付けることは困難です。

昔のロータリーでは、この職業を厳しく定義しており、RI が標準職業分類表を作り、それに従って、各クラブが職業分類を貸与していたのですが、RI が 1963 年以降その作業を中止したため、各クラブが独自にクラブ・レベルの職業分類表を作らざるを得なくなりました。現実には予め作成した職業分類表に従って会員増強を図るのではなく、入会した会員に当てはまる職業分類を作るという本末転倒の状態が続くと共に、職業分類の人為的な細分化が行われて、今日に至っています。さらに最近、ロータリーの思想をなるべく多くの人に知ってもらうために、地域社会の横断面を捉えた数多くの職種の人に門戸を開こうという考え方が強くなっています。世に有益な職業は価値があり、例え本人が自覚していなくても、社会に大きな貢献をしています。ほとんどの人は、金を儲けるために事業を営んでいると考えているかも知れません。しかし、もしその事業を営んでいる人全員が、ある日突然、この世からいなくなってしまうらどうなるでしょう。靴を作る人全員がそのノウハウを含めて、地域社会から姿を消した場合を想像して下さい。パン屋さん、歯科医、弁護士、どの職業の人がいなくなっても、地域社会は大きな打撃を受けるのです。





委員会報告

◎ニコニコ箱委員会

杉原 巨峰 委員長

- ・入会記念日自祝 上田 正義 君
- ・結婚記念日自祝 成田 隆志 君 高田 眞吾 君
- ・樋口先生 いつも写真有難うございます 成田 隆志 君
- ・樋口先生 写真有難うございます 清水 正義 君 田川 和見 君
杉原 巨峰 君 木村 克己 君
中野 秀一 君 高田 眞吾 君
- ・先週今週と多数のニコニコ箱を頂きまして有難うございます 杉原 巨峰 君
- ・革靴とウォーキングシューズを間違えて履いて来ました お詫び
大西 寛治 君
- ・早退お詫び 木田 眞敏 君 大矢 克巳 君
高田 眞吾 君
- ・親睦会欠席お詫び 岡本 日出士 君
- ・メーキャップ無しお詫び 堀部 邦夫 君 北本 良弘 君
小林 誉典 君



「^まく^かの香や 奈良には古き 仏たち」

松尾芭蕉

菊の香がただよう奈良のまち。その香の中に古い仏像たちがひっそりとたたずんでいる。
季語：菊の香（秋）





「米山月間に因んで」

堀部 邦夫 米山奨学委員長

既にご存知と思いますが、米山奨学記念事業とは日本に在留している外国人留学生に対して、日本全国のロータリアンの寄付金を財源とし奨学金を支給して支援する半世紀の歴史をもつ日本最大の民間奨学事業団体であります。



その中でも奨学生の心のケアを重視する世話クラブ、カウンセラー制度こそが世界に平和の種をまく米山事業の真髄といわれています。

今年も7月に関西米山奨学生の歓迎会では、カウンセラー、奨学生の現状報告、8月のカウンセラー研修会では実際にカウンセラーを引き受けられ疑問に思ったこと、奨学生の世話で困ったこと、良かったことを具体的に報告されました。さらに全国のロータリアン日本事業の理解を深め、寄付金を増やす手立てについて結論こそ出ませんでしたでしたが熱心に討論されました。

変化する世界情勢や取り巻く環境から昔の貧困救済型から知的国際貢献方に変ってきています。現在、日本に留学している奨学学生こそまさに「無名の若き外交官」であるといった認識のもとにこの米山奨学事業にさらなるご支援をお願いします。



奉仕の人「米山梅吉」

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏(1868 - 1946)は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー(カリフォルニア州)ウエスレアン大学(オハイオ州)シラ キュース大学(ニューヨーク州)で8年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を"社会への貢献"とするなど、今日でいうフィランソロピー(Philanthropy*)の基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。"何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ"これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。"他人への思いやりと助け合い"の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。

